

## 保田の大仙神社

大規模林道を、保田から西城の高尾に向かっていくと左側にある。

2つの神社は、同じところに並べて祀ってある。

大仙神社は、木造トタン葺きの小祠で、もとは、現在より約 1Km離れた鹿深山の麓にあったものを明治の初め頃に現在地に移したということです。

祠には石仏2体が納められており、どちらも寛政 11 年（1799 年）己未年六月吉日の作とある。

右側の石仏には、「地藏権現奉建立」とあり、建立者は、「山中鍛冶屋師要助」となっている。左側のものの建立者は、「同村鍛冶屋柳兵衛」とあり、いずれも鍛冶師の建立で、鉄の運搬にあたった牛馬の安全を願って建立されたものであろう。



左側：大仙神社、右は伊勢神社